



2015



CHARTERED SEPT. 11, 1953

## Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX. 03-3202-0329  
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2015 - 16 会長主題

# 一人ひとりが賜物。もっと発酵、もっと発信！

あずさ部長	標 克明 (甲府)	「ワイズメンとして一步前進」
東日本区理事	渡辺 隆 (甲府)	「原点に立って、未来へステップ」
アジア地域会長	Edward K. W. Ong (シンガポール)	“Through Love, Serve” 「愛をもって奉仕をしよう」
国際会長	Wichian Boonmapajorn (タイ)	“Mission with Faith” 「信念のあるミッション」

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 上妻英夫 / 書記 鈴木田通夫 / 会計 尾内昌吉・金本伸二郎  
直前会長 浅羽俊一郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 沖 利柯

### 2015年 9月 例会

<ユースの月>

と き 9月15日(火) 18:30~20:30  
 ところ 山手センター 101号室  
 受付 尾内規子さん・飯野毅与志さん  
 司会 中村孝誠さん  
 開会点鐘 会長  
 モットー・ワイズソング 一同  
 聖句朗読・祈祷 鈴木田通夫さん  
 ゲスト・ビジター紹介 会長  
 ハッピーバースデー  
 楽しい歌 鈴木田祐子さん  
 卓話「歴史認識の諸相—今を考えるために」  
 拓殖大学政経学部教授 大谷博愛さん  
 (東京サンライズクラブ)  
 ニコニコ 一同  
 山手Yの小窓から 担当主事  
 報告 担当主事、会長  
 閉会点鐘 会長

当番(第2班) 中村、尾内(規)、鈴木田、飯野、

### 9月 HAPPY BIRTHDAY

鈴木田祐子さん 9日 浅羽俊一郎さん 20日

会費の納入は、会計(尾内君)への納入または  
下記銀行口座への振込みをお願いします。  
三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店  
普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」

### ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう  
 義務はすべての権利に伴う 』  
 “ To acknowledge the duty  
 that accompanies every right ”

### 今月の聖句

人よ、何が善であり  
 主が何をあなたに求めておられるかは  
 あなたに告げられている。  
 正義を行い、慈しみを愛し  
 へりくだって神と共に歩むこと、これである。

ミカ書 6章8節

### 8月報告

会員在籍数		18名
例会出席者	メン	14名
	メネット	一名
ゲスト・ビジター		2名
会員出席率		78%
ニコニコ	一円(累計 10,100円)	
BF切手	—kg	外国切手—kg

## 8月納涼例会 報告

日時：8月18日（火）18時30分～20時30分

場所：高田馬場、「にんじんや」

出席者（敬称略）：

メンバー：浅羽、飯島（隆）、飯野、尾内（昌）、  
尾内（規）、沖、金本、功能、鈴木田（通）  
鈴木田（祐）、戸坂、中村、福村、増野  
14名

ゲスト・ビジター

村野 繁さん（東京目黒・会長）  
村野絢子さん（ 〃 ）

合計 16名

連日の猛暑でお互いかなり疲労がたまってきた頃合いでしたから、この夜の納涼例会は文字通りの骨休め例会になり、皆さんうちとけて楽しく英気を養うことができました。

福村さんは昨年の納涼例会以来1年ぶりの参加になりましたが、お元気になられたご様子で嬉しいことでした。一方、司会役の予定だった上妻さんは入院中ということで、鈴木田祐子さんが司会を担当しました。いつもの例会の定型からは離れて、浅羽会長のユーモラスな開会点鐘モドキの後はずぐみんなで乾杯、料理を突っつきながら、歓談し、出席した16人が近況などを自由に話しました。

戦後70年ということで、空襲の思い出（B29に立ち向かった日本の小さな戦闘機2機の話

や、「戦前の西早稲田の街並み」の興味深い絵地図（高田馬場駅前のビル2階廊下に展示）の話等もありました。また、新しい話題では、飯島さんから教会のエレベーターを取り換える費用の話や、尾内さんからアジア大会でのインドのワイズとの交流の話などもあり賑やかでした。

ビジターの村野繁さんは1966年に東京目黒クラブが山手クラブの子クラブとして誕生したときに山手クラブから目黒に移籍した5人の中のお一人です。大久保にあるNPO法人「高麗博物館」の活動を熱心に応援しておられるので、そのPRと、大久保でのヘイトスピーチの様子について話しました。

話がリレーされていく中で奈良さんへのカードにみんなでサインしました。あっという間に楽しい時間が過ぎて、全員の記念写真も撮ってお開きになりました。（まとめ：功能）

.....  
2015～16 ロースター（会員名簿）が届いています。例年通り一冊1000円をご負担ください。

（尾内）



## 第26回アジア地域大会 に参加して

飯野毅与志

7月31日(金)～8月2日(日)、京都で開催されたワイズメンズクラブ国際協会第26回アジア地域大会への参加者は、900人程おりました。山手クラブからは、浅羽、尾内、尾内(規)、田尻、飯野の5名が参加しました。

1日目の講演会は宇宙飛行士毛利衛さんのお話「宇宙からの贈り物」でした。たいへん良い講演でした。後の交流会も良い会でした。

2日目は朝食からフォーラム、エクスカッションも良いコースでした。尾内さん夫妻と浅羽会長は第1分科会に出席され、通訳は田尻さんがされたそうです。とても充実した良い分科会だったそうです。その夜の交流会も良い、楽しい集いでした。

3日目、最終日のプログラムも聖日の礼拝から始まり、報告会、IBC/DBCの締結儀式も良い儀式でした。第27回アジア大会(シンガポール)のプロモーション、来年の第72回国際大会(台湾)のプロモーション、閉会式のプログラムは、新しい出発の為の良い想い出が残るプログラムでした。

良い研修が出来た良いプログラムでした。次回も参加したいと思っています。ワイズメンズアジア大会や世界大会、まだ一度も参加されていない方は一日でもいいと思うので、是非参加されたらワイズでの活動が楽しくなって良いと思います。私も次回も参加したいと今から祈り、願っています。



DBC 大阪茨木クラブの皆さんと



舞妓さんと一緒に

### マーシャルの心意気を学びました

浅羽俊一郎



成功裏に幕を閉じた京都大会、会期中、私はマーシャルさせてもらいました。立ちっぱなしが少しきつかったけれど「おもてなし」の本場でマーシャルの心意気を学びました。事前準備、チームの運営等とても勉強になり、それに何よりも一般参加者よりも他クラブのメンと交流できるのがマーシャルだと気がつきました。感謝!

タイのUNHCRの元同僚と再会。それぞれ息子も参加していたので4人で一緒にカメラに収まりました。

また、女性が輝いていました。歌をリードした越智さん、ユース代表の沖さん、実行委員長の森田さん。そして初々しい舞妓さん達。楽しうおました。

いつも何かへまをしでかす私ですが、今回は何だったでしょう?実はマーシャルのユニフォーム、上はオレンジのシャツ、下は各自白のズボンを用意することに。ズボンのことすっかり忘れていて、数多のマーシャルの中で、ただ一人黒ズボンでした。その分冷やかな目の中、頑張りました。

## ＜私の福島・フクシマ＞

### 福島の人が幸せにならない限り 日本の未来はない。

増野 肇

今回の震災の後、石巻や宮古の被災地に支援に出かけていった。私の専門とするサイコドラマが人間関係の改善や気分のでんかんに役立つことを考えて、被災者の人たちが自由に話せる場所を作ることと、現地の支援者たちのサポートを兼ねて試みたものだった。当然、福島には重点を置いて、福島市では年に1回、いわき市では2回ぐらい支援に出かけていった。そして、やはり、福島の人たちが抱えている問題の桁違いの厳しさに直面してきた。

それは改めて言うまでもなく原発の問題が絡んでいるからである。最初の訪問では、もう見るができなくなった桜の名所への思いや福島にとどまるか新しい土地に移住するかの問題が大きかった。それが年月の経過とともに複雑になってきている。心配しているのは、福島に残らざるを得なかった人と出ていった人との問題、賠償金を受ける人と受けない人の問題、除染作業の有無などさまざまな問題による市民の分断化が生じて、安心して話ができる場がなくなっていることである。さらにそのような分断化による対立が子どもたちにもさまざまな暗い影を落としているようだ。今回のいわき訪問でも、放射能への不安がいつでも日常生活の中に付きまとっていることがわかったし、実際に子どもたちの甲状腺の障害も経過を見ている段階ではなくなっているのを感じた。

YMCAでの子どもたちのキャンプ支援も、福島の人たちのリピートが多いのにその希望に答えられないと言う課題もあると聞いた。他の被災地が新しい動きが進んでいるのに対して福島での課題は依然として見通しが見えないところにある。そこにこそワイズの人たちももっと積極的に応援していくべきではないかと考えている。

この福島の問題は広島や長崎の被害を受けながら経済優先を旗印に全国に原発建設を進めてきた日本人全体の問題でもある。「福島の人たちが幸せにならない限り日本の未来はない」この言葉を多くの人たちと共有して活動していくべきだと考えて提案してきた。

私自身としては、これからも福島市といわき市でのグループワークを継続して行くとともに、東山荘や精神障害者の就労支援センター「街」で当事者や一般市民、専門家を対象に私が行っているサイコドラマ研修の参加費をYMCAの福島の子どもたちの援助に寄付してこの活動を応援していきたいと考えている。

.....

#### 9月卓話者 大谷博愛さん ご紹介

1947年 札幌生まれ、子どもの頃から札幌YMCAの少年部メンバー。  
学生時代は山手学舎で生活。  
1989年 東京サンライズクラブのチャーターメンバー。  
現在、拓殖大学政経学部教授 専攻は政治学

#### おたより (8月)

＜青鹿博明さん＞ 8月は戦時中の話が多いですね。私も1シーン、1シーンと思い出し、今更の如くノーモア戦争と、心を新たにしています。

7月にカンボジアに送る歯ブラシ1200本を姫路グローバルクラブに送り、受領の返信をいただきました。

＜上妻英夫さん＞ 「赤トンボ 病窓高く舞よりぬ」 外を眺めていると赤トンボが目の前にこんなに高く、また秋も間近かなと思わせる。

(8月21日にお電話したところ、もう退院されてお元気な声でした。F.K)

＜鈴木田通夫さん＞ 8月1日、東京YMCA引越説明会に出席しました。出席者は10数名、内容は引越の説明後の質疑応答は概して穏やかに推移し、1時間半程で終わりました。

＜鈴木田祐子さん＞ 甲府クラブファン作りにも協力しました。思わずオオッと声を出す程、素敵なブドーと桃が届きました。

＜田尻忠邦さん＞ 8月18日は全国YMCA国際研修会担当のため、残念ですが納涼例会は欠席させていただきます。

＜福村佐和子さん＞ 長い間休んで居りましたが、8月は是非出席したいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

.....

#### 8月のヨルダン会は、休会にしました

▼国際協力街頭募金

9月5日(土) 13:00~17:00、新宿駅周辺で、恒例の東京YMCA一斉街頭募金を実施しました。

この募金はアジアの子どもたちの教育や、世界中で災害や戦争で苦しんでいる子どもたちの支援のために用いられます。例年は渋谷駅近辺で実施していましたが、渋谷駅を含む近辺の開発工事のため、今年は初めての試みとして、山手センターからも近い新宿駅周辺(東口、南口、西口)で実施しました。

▼第683回東京YMCA 午餐会

翻訳家・村岡花子(1893-1968)は、『赤毛のアン』『王子と乞食』『フランダースの犬』などの翻訳で知られていますが、文筆活動の基盤となったのは10歳から20歳まで、母校 東洋英和女学校で受けた英語教育、キリスト教教育でした。教育の在り方が問われている今、信念を持って日本の女子教育に尽力した校長 ミス・ブラックモアをはじめとする婦人宣教師たちの姿を、花子の孫でもある作家・村岡恵理さんに語っていただきます。

【卓話者】村岡 恵理(むらおか えり)氏

【テーマ】村岡花子を育てた先生方  
—カナダ婦人宣教師の教育—

【とき】9月28日(月) 12:00~13:30

【ところ】東京大学YMCA(東京メトロ  
南北線「東大前」下車、改札前  
エレベータを上がるとすぐ)

【参加費】3,000円(食事なし1,500円)

【お申込】9月24日(木)までに会員部へ。

▼第32回オール会員ソフトボール大会

今年も皆さんとともにソフトボールを通じて親睦を深め、爽やかな秋の一日を楽しみたいと思います。ぜひ多くの会員の皆様にご参加いただけますよう、お声がけをお願いいたします。ご参加をお待ちしております。

【日時】10月12日(祝) 9:30~16:00

【場所】東京健保組合大宮運動場内  
出版健保グラウンド

【参加費】1チーム(9名以上) 10,000円  
個人 1,000円/1人

【申込】9月25日までに会員部まで

▼第29回

インターナショナル・チャリティーラン

9月23日(祝)、江東区木場公園

当日のコース誘導など、沢山のボランティアのお力が必要です。朝8:30の集合ですが、お手伝いいただける方は沖までご連絡いただくと幸いです。

また、山手センターからも山手学舎を含む3チームを出したいと思います。応援だけでも結構です。木場公園でお待ちしております。

(沖 利柯)

新宿駅周辺で国際協力街頭募金が行われました。(9月5日)



留学生たちも協力しました